
前略、幼き日の僕達へ。

相葉広果

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

前略、幼き日の僕達へ。

【Zコード】

N2107C

【作者名】

相葉広果

【あらすじ】

夏の廊下に吸い込まれる思い出、最後に見た君はどこか儚げな顔
だった。失つてから気付く脆い思い出は、いつまでも覚めない御伽
噺。

覚えてますか あの優しい春の日を
覚えてますか あの眩しい夏の日を

そして 君が消えて

覚えてますか あの切ない秋の日を
覚えてますか あの寂しい冬の日を
僕はまだ夢にまで見る
踵を返して遠ざかった
それ以来 君はもつ見えなかつた

忘れましたか 一人出逢つた春の事
忘れましたか 一人擦れ違う夏の事

そして 君が消えて

忘れましたか 一人引き裂く秋の事
忘れましたか 一人遠くなる冬の事

僕はまだ思い出している

出逢つてからもうすぐ十三年

一日だつて 君を忘れたりしなかつた

どこに居るの 春はもつ駆け足で過ぎて
どこに居るの 夏はもつすぐやつて来る

そして 君はいない

どこのに居るの 秋にも君は戻つてこない
どこのに居るの 冬は僕達も離れ離れだよ

僕はまだ動けだせずにいる
あれからもう一年も経つて
それなのにまだくすぐったまま

君と出会つてから十三年

君が消えてから一年

いつか いつか 君がいない日々の方が長くなるときがやつて来る

前略 君へ

出会いはあの公園の小さな砂場
覚えてますか 忘れましたか

前略 砂場様

僕たちが出逢つた日のことを
覚えてますか 忘れましたか

そして

前略 あの日の僕へ
忘れてませんか 自身の過ちを
十五歳の君は少しだけ気付きました

いつかきっと思い出す
いつかきっとまた出会い
そう信じて歩いて行く

あの砂場から離れて歩く日も来るだろう
それでも僕は いつもどこかで君を待つ

忘れないで 否定しないで 覚えていて
それが僕にとっての幸せ

忘れていいよ 否定していいよ 覚えなくてもいいよ
それが君にとっての幸せなならば

忘れたあと 否定したあと 記憶から転がり落ちても
僕は覚えて 君は忘れて
それもひとつのかたちなんだろうな

前略 君へ 僕へ あの日の一人包んだ砂場様

とりあえず 僕は今十五歳
君を待ちながら 砂場を踏むこともなく
窮屈な日々に肩で息をしながら生きています

少しだけ 過去を振り返りながら 歩いています

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2107c/>

前略、幼き日の僕達へ。

2010年10月11日02時06分発行